



山科朝則 県政報告 Vol.11

とも のり 山形の未来へ、アクション!

発行日 / 平成28年冬 発行 / 山科朝則事務所

山科朝則事務所 〒996-0033 新庄市下金沢町4番20号 TEL.0233-25-8778 FAX.0233-25-8777

県立新庄病院の移転改築、機能強化へ向けて、さらに前進!

少子高齢社会に対応した病院機能と、地域連携を図り、将来にわたり維持・継続することができる医療体制を



新庄病院を全面移転

県方針 救命センター設置検討

県は、改築が決まっている新庄市の県立新庄病院（八戸茂美院長）を現在地から全面移転する方針を固めた。山形市内で30日に開かれた県と山形大医学部の懇談会で、県が明らかにした。救命救急センターの設置も検討される。

出席した県の担当者が全面的に確保を必須とし、アクセシビリティの利便性、騒音や悪臭といった療養環境や活断層などの災害リスクへの配慮を盛り込んだ基本構想案を提示した。県は「まちづくり」の視点を重視するとして、基本構想を策定する方針。

「改築に向けて検討しているが、住民が安心して暮らして続けられる地域を構築するため、救命救急センターの設置を検討し、救急救命の機能強化を図りたい」と述べた。

県病院事業局の施設整備に関する基本的考え方では、立地条件は十分な敷地

敷地内へリポートの設置、緩和ケア病床（病棟）の整備、院内保育所の整備なども検討されている。

県の全面移転改築の考えは、新庄市の県最上総合支庁で1日に開かれる県会で行う。検討案に示される。検討委員の意見を踏まえ、移転改築の意向を踏まえ、移転改築を盛り込んだ基本構想案を提示し、県が明らかにした。

（山形新聞H28.12/1）

新庄病院「救命センター」全面移転案 改築検討委が了承

県立新庄病院（八戸茂美院長）の改築整備基本構想ではヘリポートや駐車スペースの整備、院内保育所の整備なども検討されている。

県の全面移転改築の考えは、新庄市の県最上総合支庁で1日に開かれる県会で行う。検討案に示される。検討委員の意見を踏まえ、移転改築を盛り込んだ基本構想案を提示し、県が明らかにした。

「改築に向けて検討しているが、住民が安心して暮らして続けられる地域を構築するため、救命救急センターの設置を検討し、救急救命の機能強化を図りたい」と述べた。

県病院事業局の施設整備に関する基本的考え方では、立地条件は十分な敷地



（山形新聞H28.12/2）

ふるさと再生 さらに前進!

2016 Action!

※この県政報告誌は、県議会議員に交付される政務活動費を活用し、作成しております。

これまでの動き(初当選以降の県議会での質疑等)

平成23年

■6月定例会予算特別委員会

- 新庄病院と地域医療の方向性について
- 新庄病院の機能充実について
- 医療体制の充実・強化について
- ドクターヘリの運用について

■7月地域議員協議会

- 新庄病院の課題と改築について(大規模感染対応等について)
- 医師等確保対策について
- 11月地域議員協議会
- 新庄病院の機能強化と建て替えについて(亜急性期病棟について)
- ドクターヘリのランデブーポイントについて

平成24年

■6月定例会一般質問

- 最上地域の医療体制と新庄病院について
- 新庄病院の整備改築について
- 冬期間のドクターヘリの運航について
- 電子カルテ導入と医療クラウドについて
- 最上地域の医師確保対策について
- 高校における医療人材の育成に関する取り組みについて

■7月地域議員協議会

- 最上地域の医療について
- 新庄病院建て替えの合理的な理由について(総合診療、特徴ある診療科目の開設)

(山形県第6次保健医療計画へ改築を盛り込むよう提案)→明記された

■決算分科会

- 最上地域への看護学校の設置について
- 11月地域議員協議会
- 医師、看護師等人材確保、育成について

平成25年

■4月閉会中厚生環境常任委員会

- 医療人材の確保について
- 山形大医学部医学科における「地域枠」創設について
- 6月定例会厚生環境常任委員会
- 二次医療圏の患者流出率について(最上二次医療圏の維持存続)
- 新庄病院の特色ある機能について

■7月地域議員協議会

- 新庄病院の改築検討の進め方について
- 機能強化について
- 医師確保について

■9月定例会厚生環境常任委員会

- 医療、福祉現場での腰痛等健康問題について
- 離職した看護師の再就業促進について

■11月地域議員協議会

- 新庄病院の電子カルテ導入について

■12月定例会予算特別委員会

- 病院機能の向上と質の高い安全な医療提供の実現について
- 新庄病院の機能強化と整備改築について(今後のスケジュールについて)

平成26年

■2月定例会厚生環境常任委員会

- 新庄病院と中央病院の紹介率、受診動向について
- 山形大医学部医学科「地域枠」への対応について
- 地域包括ケアと医師会等との連携システムについて

■7月地域議員協議会

- 最上地域の患者流出率とその対策について
- 新庄病院への苦情と対応について

平成27年

■2月定例会予算特別委員会

- 新庄病院の建て替えについて
- 新庄病院における総合診療医の育成について
- 県立病院におけるリハビリについて(高齢化社会とリハビリ、老年科とリハビリ、地域全体で高齢化に対応する医療の在り方)
- 医師公舎の在り方について
- 山形大医学部医学科「地域枠」創設について

■7月地域議員協議会

- 新庄病院の改築に係る検討状況について
- 最上地域の医師の状況と課題について
- 総合診療医を含む新たな専門医制度について
- 看護師確保対策について

■11月地域議員協議会

- 在宅での看取りの状況と新たな病院機能としての位置づけについて

■12月定例会予算特別委員会

- 新庄病院の機能強化について(総合診療医育成について)

平成28年

■7月地域議員協議会

- 新庄病院の機能強化と建て替えについて

■9月定例会予算特別委員会

- 病院規模、機能、場所、スケジュールについて



山科朝則委員 (自 民)

▼やまがた森林(モリ)ノミクスによる森林資源の活用が増える中、計画的な森林経営や再造林の取り組みをどう進めるか。

白田洋一 農林水産部長

県産木材の増産に伴い、森林の多面的機能が失われることも懸念されるため、森林組合などの適正な伐採と再造林について定める森林経営計画の策定を指導している。ただ、計画策定済みなのは、民有林の人工林面積12万4千㌦のうち、23%に当たる2万9千㌦にとどまっている。計画策定により、再造林に対する補助率が46%から80%に上がるメリットを森林所有者にPRする。県みどり環境税も活用し、再造林率100%を目指す。

▼改築が決まっている県立新庄病院の立地場所や改築までのスケジュールは、新庄病院の改築年度内基本構想新沢陽英病院事業管理者立地場所は最上地域の基幹病院としての役割を果たすために十分な面積を確保できることや、都市計画も考慮して決める。利便性や救急業務、災害対応、活断層などにも配慮する。改築に関する基本構想を検討委員会でも本年度中に決め、来年度に基本計画を策定する。設計には2年、建設工事には3年を要する。

(山形新聞H28/27)

ごあいさつ

新庄病院の機能強化と移転改築が大きく動き出しました。新庄病院の全面建て替えは以前より新庄最上地域に暮らす私たちにとっての悲願であり、私は初当選以来、単に建物を建て替えるだけではなく、病院の機能強化を同時に行うことが必要だと訴えて参りました。

この度の移転改築に際しては、県、病院事業局等関係各所より新庄病院の機能強化について賛同を得ることができ、これまで課題であった救急救命センターの設置が予定されております。また、ドクターヘリの専用ヘリポート、十分な駐車スペースの確保など、他地域の県立病院等と比較して十分でなかった設備面でも住民の皆様の利便性を向上させる病院となる予定です。医師をはじめとする医療人材の充実にも課題がありますが、地域唯一の周産期医療の拠点として、また総合診療科の設置等による高齢化に対応した医療、地域の医師会の先生方や福祉関係者の皆様との連携、さらに障がいをもった子どもたちの療育訓練センターや老朽化している新庄養護学校の移転など、県有施設の一体的な整備を通じ、「未来への地域づくり」からの視点に立ち、地域の医療環境を向上させていくことが重要だと考えています。

これからも地域の皆様のご意見をお聞きし、新病院建設に反映させてまいりますので、多くのご意見をお寄せください。

山形県議会議員 **山科 朝則**

皆様のご意見をお寄せください。

山科ともりのホームページ
<http://www.yamashina.jp/>

facebook 公開中



※この県政報告誌は、県議会議員に交付される政務活動費を活用し、作成しております。